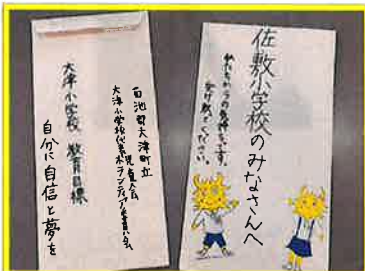


# 学校通信『自分に自信と夢を』 第73号 文責 古澤

## 挑戦・感謝・支え合い 困難に打ち勝て!

### 夢サミット・プロジェクト1 「支援活動」

学校通信第59号で紹介しましたボランティア委員会と児童会役員が取り組んだ被災地を支援する活動について、今号では、支援金・支援物資の取りまとめと、届け先の学校を紹介します。  
 支援金：10万3千円、支援物資（文房具・日用品）：段ボール7箱  
 支援金はメッセージを添えて、佐敷小学校と渡小学校に届けました。



私たちは大津小学校です。大津小は被災した方々に少しでも役に立てるよう、お金と物資を集める活動を行いました。担任の先生からさしきの様子を見せていただきました。とても大変で危険な状態だとわかりました。不安でつらかったと思います。特に、6年生の気持ちを思うと、悔しくて悲しいと思います。私たちが熊本地震を経験し、とてもこわく、きつい思いをしました。そんな時、自衛隊の方々や地域の方々が支えてくださいました。だから、私たちの活動が、少しでも水害で被災した方々の支えになればいいなと思っています。当たり前で感謝し、一日一日を大切に過ごしていきます。一日でもはやく、もとの姿にもどることを願っています。

私たちがみなさんも協力しながら一緒に頑張っていきましょう。  
 2020年8月8日 大津小学校一同 児童会・ボランティア委員会

支援物資は物資ごと（学用品・タオル・ティッシュ等）に箱詰めを行い、一箱ごとに手書きのメッセージを貼り、渡小学校に届けました。  
 ＊佐敷小には、既に多くの物資が届いており支援金のみとなりました。

8月11日（火）に、緒方奈々先生（児童会担当）と鍋島恵美那先生（ボランティア委員会担当）が、被災地の2校を訪問して届けました。佐敷小学校は、佐敷町内の田浦小学校と田浦中学校で学習しています。渡小学校は、球磨村内の一勝地小学校の運動場に建てられたプレハブで学習しています。2校の子どもたちへ「支え合い」の心が届きました。  
 ＊裏面に関連記事を掲載しています。（支援活動の様子・渡小の体育館）



### 夢サミット・プロジェクト2 「福祉活動」



ボランティア委員会の皆さんが心を込めて作成した飾りが大津町社会福祉協議会を通して、デイサービス利用者の方々へ届けられました。この福祉活動に対して、デイサービスいわさか様と灰塚様より「暑中見舞いのお礼のカード」をいただきました。15枚のお礼のカードは、2階の中央廊下に掲示しています。



折り紙で作られた昆虫や動物、温かいメッセージに感謝を申し上げます。

### 増築・改修工事 ④



9月に入り、運動会の練習が本格的に始まると同時に、職員室の外壁解体（写真①）と南校舎東側の外部階段の解体撤去（写真②）の工事が行われました。9月中旬になると、職員室南側（写真③）と教室予定地（写真④）の地盤を調べるボーリングが始まりました。